



人権平和資料館だより

2010. 9

## HUMAN RIGHTS & PEACE 第194号

人権と平和は  
21世紀のキーワード

〒720-0061 福山市丸之内1-1-1

TEL 924-6789 FAX 924-6850

[jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp)

# 沖縄の歴史と文化

2010年9月19日(日)～11月28日(日)

2010年4月25日、「米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、国外・県外移設を求める県民大会」に、党派や世代を超えて約9万人の県民が結集したことが沖縄の各紙で報じられています。この沖縄県民を動かしたエネルギーと県民が突きつけた強い意志を、本土にいる私たちは、どう受けとめたらよいのでしょうか。

太平洋戦争では「本土決戦の犠牲」にされ、戦後は日本本土から政治的に切り離されて米軍の統治下になり、1972年5月の本土復帰後も、日本の国土面積のわずか0.6%のせまい島に在日米軍基地の74.3%が存在し、経済・福祉・教育など県民生活の基本になる部分が後まわしにされています。このような過重な基地負担に対して、「沖縄差別」との指摘があるほど、沖縄県民の負担軽減を訴える声が強くなっています。

企画展「沖縄の歴史と文化」は、沖縄が歩んできた歴史を振り返りながら、現在の沖縄の問題を私たち一人ひとり考えてみようとするものです。

沖縄の歴史を見ると、14世紀以来、琉球王国として奄美から八重山までを勢力圏とした大交易時代を築き、独自の文化を発展させてきました。「万国津梁の鐘」の銘文には、次のようにあります。

「琉球国は南海の勝地にして、三韓（朝鮮）の秀を集め、大明（中国）をもって輔車となし、日域（日本）をもって唇齒となす（輔車・唇齒、ともに非常に深い関係があること）。この二つの中間にありて湧出する蓬萊島なり。舟楫（舟とかじ）をもって万国の津梁（かけ橋）となり…」（原漢文、以下略）

ところが1609年、薩摩藩はひっ迫した藩財政を立て直すため、琉球貿易の独占と奄美の分割を求めて琉球を侵略し、それにより琉球王国は、実質的に幕藩体制に組み込まれていきます。

そして1879年（明治12年）、近代国家建設を急ぐ維新政府による「琉球処分」によって、500年余り続いた琉球国は崩壊し、「日本領土の一部」として沖縄県が設置されます。

ここから近代沖縄の苦難の歴史が始まり、現代へとつながっていきます。



ばんこくしんりょう かね  
万国津梁の鐘

（沖縄県立博物館・美術館蔵）

## 沖縄の歴史と文化



首里城正殿（大修理前・明治期）

1429年、尚巴志は琉球を統一し那覇が一望できる首里の丘陵に築城した。1933年大修理が行われ国宝に指定されたが、戦争により焼失。現在の首里城は1992年に復元された。



江戸上り図（部分）

琉球の使節一向が上京する時は中国風の行列にしたて、路次楽（るじがく）を吹奏しつつ行進した。島津氏は琉球という異国を支配していることを誇示することができた。



琉球処分官一行

1879（明治12）年、明治政府の命を受けた松田道之は、「琉球藩を廃し沖縄県を設置する」と通達。



民間人の仮設収容所（石川）

自然洞窟やジャングルから助け出された人々は、米軍が作った収容所に保護された。人々はそこで生きることのすばらしさをかみしめた。



新生沖縄県のスタート（1972年、沖縄県庁の除幕式）

「沖縄の復帰は疑いもなく、ここに到来した。しかし県民のこれまでの要望と心情に照らして、復帰の内容は必ずしも願望が入られたとはいえないことも事実である。そこには、米軍基地をはじめいろいろな問題があり、これらを持ち込んで復帰した」（屋良朝苗沖縄県知事）



辺野古はジュゴンの海（大浦湾）

沖縄ジュゴンは、沖縄に数十頭しかいないといわれており、絶滅の危機にある。辺野古の海はジュゴンの生息地のほぼ中央部にあり、基地の建設で海が埋め立てられたり、赤土が流出して汚れたりすると、ジュゴンのえさ場はなくなってしまう。